

# 目次

巻頭言——考古資料としての木簡……………山中章……………1

目次……………iii

凡例……………vii

二〇〇六年出土の木簡……………1

概要	渡辺晃宏	奈良・藤原京跡	竹本晃	34
奈良・平城京跡(1)	武田和哉・原田香織	奈良・石神遺跡	市大樹	38
奈良・平城京跡(2)	宮崎正裕・原田憲二郎	奈良・新堂遺跡(角田地区)	平岩欣太	45
奈良・平城京跡(3)	岡田憲一・重見泰	奈良・八条遺跡	坂靖	48
	鶴見泰寿	奈良・上宮遺跡	平田政彦	49
奈良・平城京跡・奈良町遺跡	中島和彦	大阪・大坂城下町跡	黒田慶一	51
奈良・西大寺食堂院跡	渡辺晃宏	大阪・花屋敷遺跡	岡本圭司	55
奈良・日笠フシシダ遺跡	清水昭博・鶴見泰寿	大阪・茨木遺跡	黒須靖之・黒須亜希子	57
奈良・藤原宮跡	市大樹	兵庫・高畑町遺跡	永島暉臣・西村匡広	59
		三重・丁長遺跡	野嶋美沙子	61

愛知・吉田城址	岩原剛	62	石川・木ノ新保遺跡	三浦純夫	107
静岡・東前遺跡	鈴木敏則	63	石川・大町ゴンジヨガリ遺跡	柿田祐司	113
滋賀・西河原宮ノ内遺跡	畑中 英二・大橋 信弥	65	石川・八幡大皆口遺跡	北林雅康	115
滋賀・長浜城遺跡	池 崙陽一	69	富山・安吉遺跡	金三津英則	118
長野・松本城下町跡小池町	竹原 学	70	富山・願海寺城跡	古川 知明	120
長野・松本城下町跡伊勢町	竹原 学	71	富山・富山城跡(城下町)	古川 知明	121
長野・東條遺跡	岡村 秀雄	78	新潟・新堀村下遺跡	武田 賢一・田中 一穂	125
宮城・仙台城跡	鹿野 仁子	79	新潟・駒首湯遺跡	渡邊ますみ・相沢 央	127
宮城・山王遺跡(八幡地区)	吉野 武	80	島根・大婦ヶ遺跡	宮田 健一	129
宮城・壇の越遺跡	村田 晃一・斉藤 篤	84	山口・周防国府跡	杉原 和恵	130
岩手・志羅山遺跡	鈴木 江利子	86	山口・史跡萩城跡(外堀)	西川 雄大	132
岩手・西川目遺跡	西澤 正晴	89	徳島・庄・蔵本遺跡	中村 豊・定森 秀夫	135
山形・史跡山形城跡	五十嵐 貴久	91	徳島・勝瑞館跡	重見 高博	137
秋田・根子荒田I遺跡	高橋 和 大	92	香川・高松城跡(寿町二丁目地区)	小川 賢	141
青森・新田(一)遺跡	木村 淳一	93	福岡・鴻臚館跡	大庭 康時	143
青森・新城平岡(四)遺跡	木村 淳一	95	福岡・大宰府条坊跡	山村 信 榮	145
福井・木崎遺跡	坪田 聡子	104	福岡・椿市廃寺	小川 秀 樹	147
石川・豊穂遺跡	藤田 邦雄	106	佐賀・千堂遺跡	峯崎 幸清	149

目次			
一九七七年以前出土の木簡(二一九)	奈良・平城京跡右京一条二坊二坪	山本 崇	151
奈良・平城京跡右京一条二坊二坪			
奈良・本薬師寺跡		市 大樹	152
積文の訂正と追加(一〇)			154
秋田・秋田城跡(第一・八・一二号)	小松 正夫		154
秋田・秋田城跡(第一・八・一二号)			
石川・中屋サワ遺跡(第二五号)		向井裕知	165
大宝令施行直後の衛門府木簡群―藤原京跡左京七条一坊出土木簡の基礎的考察―		市 大樹	167
大宰府史跡出土木簡		酒井芳司	211
大宰府史跡出土木簡			
鴻臚館跡出土の木簡・年代・トイレ		大庭 康時・松川 博一	221
鴻臚館跡出土の木簡・年代・トイレ			
元岡・桑原遺跡の概要と出土木簡		菅波 正人	233
元岡・桑原遺跡の概要と出土木簡			
中原遺跡出土木簡とその周辺		田中史生	237
中原遺跡出土木簡とその周辺			
彙報		鶴見泰寿	247
彙報			
編集後記		土橋 誠	252
編集後記			
英文目次			(1)

コラム

橿原市東坊城遺跡出土の仏画…………… (米田 一・寛 和也) …… 47  
 多賀城跡第九六号漆紙文書の再発見…………… (吉野 武) …… 82

「平城宮跡内裏北外郭官衙出土木簡」の重要文化財指定をめぐって…………… (渡辺 晃宏) …… 12

墨書土器の記号…………… (馬場 基) …… 28

山田寺木簡の重要文化財指定をめぐって…………… (渡辺 晃宏) …… 44

切り込みはどちらから?…………… (馬場 基) …… 144

会 告

「平城宮・京跡の木簡の保存を訴える声明」について…………… 250

韓国木簡学会との交流…………… 251

図 版

一 西大寺食堂院跡出土木簡 二 大宰府条坊跡・奈良町遺跡・平城京跡出土木簡 三 石神遺跡出土木簡  
 四 新城平岡(四)遺跡出土木簡 五 八幡大皆口遺跡出土木簡